

手作りみこしで「祭だ！ワッショイ」 子育て支援教室「ひまわりきつず」

子育て支援教室「ひまわりきつず」（家庭教育オピニオンリーダー主催）の「祭だ！ワッショイ」が、7月3日㈬、こども館で開かれ、未就学児と保護者等、11組24人が参加し、遊びを通して交流を深めました。

当日は、手あそびや歌、うちわ作りをした他、箱や色紙を使って、オピニオンリーダーが手作りしたみこしを担ぎ、お祭気分を楽しみました。参加者は、保護者同士でコミュニケーションをとったり、子どもたちの写真を撮りました。

撮り合つたりして、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。また、子育て相談会では、保護者が子育ての先輩であるオピニオンリーダーに日頃の疑問や悩みを打ち明け、心のもやが晴れたようでした。

オピニオンリーダーの高野千恵子支部長は、「この教室でいろいろな親子とふれあい、子育てする環境をいいものにしてほしい」と話していました。

ひまわりきつずは、年6回開かれおり、今後は、りんご狩り



社協が幼児安全法講座 イクメン育成中！

市社会福祉協議会は、7月

6日㈯、こども館と初共催で

日本赤十字社栃木県支部幼児安全法指導員の柏崎章子さんを招き、男性を対象にした幼児安全法講座を同館で初めて開きました。この講座は、子育てをする男性、いわゆる「イクメン」同士が交流し合うこと

加してもらおうというもので

当日は、子育て中の男性など、15人が参加し、乳児・幼児への心肺蘇生法やAEDを用いた除細動などを体験しました。今後も社協では、男性が育児ボランティアに関心を持てるような講座を開き、子育てボランティアにも積極的に参



上／お店屋さんごっこを楽しむ(つくし幼稚園)。
下／豆絞り姿の園児たち(すくすく保育園)。

幼稚園・保育園で夏まつり

市内の幼稚園・保育園では、夏まつりが盛んに開かれました。そのうち今月号では、つくし幼稚園とすくすく保育園の様子を紹介します。

つくし幼稚園では、7月11日㈭、親子体験教室「つくしちこまつり」を開催し、在園児や未就園児の親子約300人が、「お店屋さんごっこ」を楽しみました。これは、保護者や地域の人たちに幼稚園に対する理解を深めてもらおうと開かれているものです。当日は、「たべものやさん」や「アクセサリーやさん」など多彩な模擬店が設けられ、園児が交替

で店員役に…。園内には、「いらっしゃいませ」という元気な声が響きわたりました。

すぐすく保育園では、8月2日㈮、「夏まつり」を開催し、園児94人が、みこし担ぎやお店屋さんごっこを楽しみました。これは、園児に活動内容を考える楽しさや、夏まつりの雰囲気を味わってもらうため開いたものです。当日は、おはやしの流れる園内で、豆絞り姿の園児が、手作りのみこしを元気に担ぎました。その後、交換で買い物やゲームを楽しみ、祭り気分を満喫したようです。

みんなで街をきれいに！

ごみを回収しました。

山あげ祭で観光に訪れる人が快適に過ごせるように「おもてなしの心で迎えよう」と、7月23日(火)、烏山市街地で初の「山あげ祭応援クリーン作戦」が行われました。

これは道路・河川環境の維持を推進するため、地域住民・市町村・県が協力しながら行う環境美化活動「愛ロードとちき事業」の一環として、建設業協会烏山支部が行つたもので、当団は、同協会員のほか市役所や烏山木事務所の職員など約100名が参加。祭で屋台が練り歩く道路の草むしりやゴミ拾いを2時間かけて行い、1トントラック1台分、38袋の



山あげ会館前をきれいにする参加者。

真剣に調理する園児たち。



鳥山保育園で じゃがいも料理に挑戦

鳥山保育園では、7月12日(金)、3歳から5歳の園児の89人が中山の帰農志塾の畑でじゃがいも掘りを体験しました。翌週の18日(木)には、収穫したじゃがいもで「いもフライ」を調理しました。

園児は、先生と一緒に野菜を切ったり衣を付けたり…。教室からは、「ぼくもやりたい」「早く食べたい」という声があちらこちらから響き渡りました。その他、園児が栽培したトマトやきゅうり、インゲン豆で「浅漬け」や「お味噌汁」も作りました。園児たちは、収穫や調理の体験を通して新たな発見やワクワク感、自分で食事を作る喜びを感じることができた様子でした。

食中毒を予防しよう

– 8月は「食品衛生月間」 –

予防の3原則は、食中毒菌を付けない、増やさない、やっつける

肉の加熱不十分な調理を原因とした腸管出血性大腸菌(O157、O111等)やカンピロバクターによる食中毒が起きています。また、ノロウイルスによる食中毒も、冬に限らず発生します。特に子どもや高齢者は、重症化しやすいので注意が必要です。

【家庭での食中毒予防】

食品の購入・保存のポイント

- ・消費期限などを確認して新鮮な物を購入し、早めに使い切りましょう。
- ・冷蔵や冷凍が必要な食品は、すぐに冷蔵庫・冷凍庫に入れましょう。

調理と食事のポイント

- ・生肉を切る包丁やまな板は、他の食材のものと分けると理想的です。
- ・加熱は十分に行い(85℃1分間以上が目安)、調理後は、室温に長時間置かないようしましょう。
- ・冷凍食品は、冷蔵庫の中や流水、電子レンジで解凍しましょう。

器具や手の消毒のポイント

- ・手洗いをしっかりしましょう。
- ・包丁やまな板、布巾などは使用後すぐに洗い、消毒してからしっかりと乾燥させ、たわしやスポンジも乾燥させましょう。

■栃木県県北健康福祉センター(県北保健所)地域保健部生活衛生課食品衛生担当☎0287-22-2364

生徒が貴重な体験を報告。



メノモニー市での体験を報告

市は、中学生海外派遣事業の報告会を7月18日(木)、南那須庁舎で開き、5月に派遣された16人の生徒が姉妹都市

のアメリカ合衆国ワイオミング州メノモニー市での出来事を報告しました。

当日は、派遣団メンバーのほか、保護者や来賓、さらには国際交流協会員も出席。生徒たちは、出発前よりたくまくなつた表情でアメリカでの体験を報告していました。



県下第一の広さを誇る野外ステージの設営が進められる。

シリーズ 市の文化財 第28回

市指定文化財

下境佐々良獅子舞(下境)



今から約260年前、常陸國(茨城県)鹿島神社の獅子舞管理者であった佐衛門という人物が、この地域の人々が風水害で苦しんでいるので救済せよとの神託を受け、生魚と称する一家7人と下境に移り住み、獅子舞の技を伝えたのが始まりとされています。現在では、保存会が中心となり保存に努め、子どもたちも熱心に活動するなど、地域全体で技術が伝承されています。

獅子舞は、1頭の雌獅子を巡る2頭の雄獅子のリズミカルな動きが見所で、棒術や獅子唄などが良く保存されていることも特徴となっています。

稻積神社に、二百十日の前日(今年は8月25日(日))に奉納されますので、ご覧になってみてはいかがでしょうか。

■生涯学習課 ☎ 0287-88-6223

「第36回いかなべ祭」が8月23日(金・24日(土))の2日間、保健福祉センター駐車場で開かれます。祭を支える実行委員や多くのボランティアが準備を進め、7月18日(木)からは、祭の舞台となる「いかんべステージ」の設営も開始されました。祭の日程は次のとおりです。

いかなべ祭

準備着々と

■23日(金) 前夜祭

午後5時～10時

・いかんべステージ(文化団体)

■24日(土) 本祭

午後2時～

・いかんべパレード

午後3時～午後5時～

・獣電戦隊キヨウリュウ

ジヤーショー

午後3時30分～5時

・いかんべステージ(各小中学
校演奏)

午後5時30分～9時

・いかんべステージ(文化団代)

24日(土) 花火大会

午後9時～

※24日(土)荒天にて祭中止の場合、
花火大会のみ、25日(日)午後8時か
ら実施。

大会では、それまでの成果をいかんべ祭で発揮し、プレゼンテーション能力に加え、マーケティングの手法によって丁寧に分析された研究内容が高く評価され、県下一となりました。

受賞の報告に市役所を訪れた生徒たちは、「我校の伝統を受け継いで6連覇を達成できて本当に嬉しい。全国大会を目指し頑張りたい」と抱負を話していました。

(写真)受賞の報告に来た生徒。
左から高塩和基さん(さくら市)、山村麻衣さん(横枕)、渡邊光莉さん(曲畠)の3人。

南那須図書館 開館10周年 「おはなし隊」がやつてきた

平成15年4月にオープンした南那須図書館では、6月29日(土)、開館10周年記念イベントの一環として、(株)講談社の「全国訪問おはなし隊」を招き、親子連れなど約10人が訪れました。

この「おはなし隊」は、内外装を特装したキャラバンカーに、絵本を積んで全国を巡回する事業。当日、キャラバンカーが正面玄関前に到着すると、子どもたちは、興味津々といった様子で車内に入り、絵本を手にしていました。また、紙芝居や絵本の読み聞かせをする「おはなし会」も人気でした。

南那須図書館では、10周年を記念して来場者にカードケースをプレゼントしました。今後は、8月31日(土)に「パンプキン祭」、10月20日(日)に「図書館まつり」を予定しています。

絵本を載せたキャラバンカー。



里山大木須を愛する会（堀江崧会長）では、7月6日（土）、大木須オオムラサキ公園で「オオムラサキの放蝶会」を開き、親子連れや宇都宮大学の学生など約80人が国蝶にもなっているオオムラサキの美しい姿を楽しみました。

同会では、今年2月に大木須地区のエノキ林で採集した幼虫約300匹を大切に飼育してきました。この日、放されたのは45匹。飼育舎から虫かごに移したチヨウを、合図と共に子どもたちが一斉に放つと、青紫の大きな羽が大空に向かって優雅に舞いあがりました。

宇都宮大学2年の早川咲樹さんは、「初めてオオムラサキを見て、こんなにも綺麗で大きなチヨウが日本にもいたなんて思いました」と、

なかつた。来年もまた参加したい」と、声をそろえていました。堀江会長は、「来年も多くの人が訪れるように里山大木須を活性化していきたい」と話していました。



上／合図で一斉に放蝶。
下／オオムラサキを観察する。

里山大木須を愛する会（堀江崧会長）では、7月6日（土）、大木須オオムラサキ公園で「オオムラサキの放蝶会」を開き、親子連れや宇都宮大学の学生など約80人が国蝶にもなっているオオムラサキの美しい姿を楽しみました。

大木須でオオムラサキ放蝶会



烏山保育園じゃがいも料理より。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課秘書広報担当
☎0287-83-1112

志鳥俱楽部で田んぼの学校

志鳥俱楽部（滝口清栄会長）は、7月13日（土）に、志鳥窯周辺で田んぼの学校「虫とり大作戦」を開き、市内外から50人余の子どもたちが参加しました。

当日は、講師の高橋滋さん（宇都宮大学農学部講師）が多様な生物体系を説明。子どもたちは、指令書に

書かれた生物を探し、虫とり網を手に奮闘していました。観察会の最後には、採集した生物に点数を付け、上位3人に、オオクワガタが贈られました。

同俱楽部は、普段見過ごしがちな地元の自然環境の良さを体験してほしいという思いから地元有志が中心になって立ち上げました。滝口会長は、「10年目を迎える年にふれあい、興味が持てる活動をしたい」と話していました。

今後は、恐竜や昆虫などの歴史をわかりやすく説明する「地球46

億年の物語」や、「水生生物の観察会」、古代米の「収穫感謝祭」などが行われる予定です。詳細は、お知らせ版などでお知らせします。

藤田でみこし練り歩く

藤田八坂神社の天王祭が7月13日（土）に行われ、大きなみこしが、地区内を練り歩きました。

当日は、「しらはり」を着た若衆が、威勢のいい掛け声と共にみこしを担ぐと、沿道の観客からは、盛んに声援が送られました。途中までは、子どもみこしも繰り出し、祭を盛り上げました。



しらはり姿でみこしを担ぐ。



高橋さん（左）の指導で虫とりに挑戦。

オカリナ・サークル「あんだんて」

結成10周年で記念コンサート

オカリナ・サークル「あんだんて」(落合信夫代表)では、7月7日(日)、「あんだんて」を記念した「たなばたコンサート」を鳥山公民館で開き、市民など約150人が参加しました。

同サークルは、公民館事業のオカリナ教室参加者が、教室終了後も練習を続けていこうと結成したものです。これまで月2回の練習を重ねてきた13人の会員が、10年の節目に初めて成果を披露しました。

落合さんは、「今後も『あんだんて』(歩くような速さ)の意味のとおりマイペースで楽しみながら会員の技術向上を図っていきたい。オカリナの魅力を多くの人に知つてもらいたい」と話していました。



「皆さんのご利用をお待ちしています」と店員のお二人。

障がい者就労支援施設みつわ工房の「カフエみつわ」が、オープン1周年を迎え、このほど、ランチ営業を始めました。

訪れる人が増え、地域にも馴染んできたところで、利用者の声を受けて始めたものです。「これらかも地域の人々との交流を図つていいたい」と、職員の穴山由美子さん。

月曜から金曜日までの午前11時から午後4時30分までオープンし、ランチは、午前11時30分から午後2時までです。問い合わせは☎ 0287-88-9016まで。

ふるさと鳥山会総会 会員と市関係者が交流

ふるさと鳥山会(小清水日出夫会長)は、6月30日(日)、東京都千代田区のホテルで総会を開催しました。市からは、大谷範雄市長、佐藤雄次郎市議会議長のほか、商工・観光・農業関係者が出席し、那須烏山市の近況を報告するなど同会員との交流を深めました。

同会は、旧鳥山町出身の在京者が、会員同士の親睦を図りつつ、ふるさとの発展に寄与することを目的に昭和63年に発足。現在は、会員の幅を広げ、約100人が活動をしています。

総会終了後には、興野出身で作家・脚本家の石塚克彦氏による講演会も行わ

総会であいさつする小清水会長。



「カフエみつわ」がランチ開始

1周年を迎えるこのほど、ランチ営業を始めました。

訪れる人が増え、地域にも馴染んできたところで、利用者の声を受けて始めたものです。「これらかも地域の人々との交流を図つていいたい」と、職員の穴山由美子さん。

月曜から金曜日までの午前11時から午後4時30分までオープンし、ランチは、午前11時30分から午後2時までです。問い合わせは☎ 0287-88-9016まで。



素敵な音色が会場に響きわたる。

今年は、16本になるかと友人と冗談交じりに話していた。自宅周辺の山にも多くのヤマユリが

中央1丁目の綱川昇さん宅の庭で、大輪の花を咲かせた背丈を超えるヤマユリ12本が、7月下旬に見ごろを迎えました。

このヤマユリは、5年前に自宅花壇に自生したものです。特に手を加えたわけでもなく、年を重ねることに倍に増えてきたことから、綱川さんは「倍々ヤマユリ」と愛着を持ち呼んでいます。地域でも親しまれています。

今年は、16本になるかと友人と冗談交じりに話していた。自宅周辺の山にも多くのヤマユリが

自生しており、この地区はヤマユリと相性が良いのかもしれません」と笑顔で話していました。

綱川さん宅で咲き誇る大輪のヤマユリ



綱川さんと80あまりの花が咲き誇るヤマユリ。



手作りピザを味わう。

夏野菜を囲み ベジフェス農コン

若手農業者グループのカッシャーレ(小川允士代表)では、第4回農業合コン「ベジフェス農コン」を、7月14日(日)、大桶周辺で開き、39人の男女が出会い、交流を深めました。

参加者は、自己紹介した後、大野果樹園で夏野菜を収穫。その後、大桶公民館で新鮮な夏野菜を使ったピザ作りを楽しみました。続くフリートークでは、すっかり打ち解けて盛り上がりを見せていました。



編集後記

○第2子の出産予定日が迫り、妻からの電話にハラハラしながらの編集作業でした。でも、早めの出産予想に反し、結局、編集完了時までその兆候はなし…。仕事の都合を考えてくれたのか、このまま、父親思いのやさしい子に育ってくれるといいな！(K)

○この時期は毎年、山あげ祭の取材・駐車場警備等で、思う存分日焼けができます。今年は少々サンオイルを塗ったのでなかなか良い焼け具合になりました。でももうすぐ34歳。お肌のシミにも注意したい中年男性です…！(N)

○山あげ祭で私の同期が何人か若衆で出ていました。なぜか3割増くらいでかっこよく見えました…が、数日後、職場で会ったら元に戻っていました！これぞお祭マジック。危ない。次は、いかんべ祭！レインボーアイスが食べたいです。(C)

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 『老いの戒め』 | 下重 晓子 |
| 『カンブリア宮殿 村上龍×経済人
社長の金言〔1〕』 | 村上 龍 |
| 『「人生案内」孫は来てよし、帰ってよし』 | 大日向 雅美 |
| 『悼む力』 | 阿刀田 高 |
| 『男のおばあさん』 | 永 六輔 |
| 『愛する伴侶(ひと)を失って』加賀 乙彦 | |
| 『そんなに、変わった?』 酒井 順子 | |
| 『リターン』 五十嵐 貴久 | |
| 『バックストリート』 逢坂 剛 | |
| 『三途の川で落しもの』 西條 奈加 | |
| 『歪んだ忌日』 西村 賢太 | |
| 『泣き童子(わらし)』 宮部 みゆき | |
| 『お任せ！数学屋さん』 向井 湘吾 | |
| 『残月』 | 高田 郁 |

●児童図書●

- | | |
|---------------------|----------|
| 『日本史の大事件100』楠木 誠一郎 | |
| 『少年口伝隊一九四五』 井上 ひさし | |
| 『うみのおばけずかん』 斎藤 洋 | |
| 『バスガエル』 戸田 和代 | |
| 『リサとガスパール ゆうえんちへいく』 | アン グットマン |
| 『だってちゃん』 中川 ひろたか | |

●DVD●

- | |
|---|
| 『綾小路きみまろ 爆笑！最新ライブ名演集』『宇宙兄弟』『宇宙戦争』 |
| 『BRANE HEARTS 海猿』『麒麟の翼』『テルマエ・ロマエ』『天地明察』 |
| 『わが母の記』『仮面ライダー×スーパー戦隊 スーパーヒーロー大戦』 |
| 『ポケモンレンジャーと蒼海の王子』 |

川柳

篠崎 酔月 選

広報の表紙にてかと鮎の貌 中村佳常代(田野倉)	生かされて米寿を過ぎし髪洗ふ 杉原キミヨ(志鳥)	木洩日に穀透きとほる蝸牛 水井 陽子(南)	日の丸に裏表なし文化の日 矢口 玄鳥(大金)	車椅子散歩している嫁姑 須田 孝子(城東)	無農薬家庭菜園穴だらけ 川俣登志子(旭)	里ぐらし願い叶つた新天地 小堀 翠泉(中央)	山頂で感動くれた冒険家 杉山幸崇子(八ヶ代)
----------------------------	-----------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	-------------------------	---------------------------	---------------------------

作品募集

毎月10日までに、総合政策課秘書広報担当
(〒321-10692那須烏山市中央1丁目1番1号)まで、郵送で作品をご応募ください。

夫乗せし車椅子押し里桜見し日もあ
黒崎 ミヨ(金井)

百年を越えたる屋敷の囲りにはバラ
と紫陽花競いて咲けり
田島 静子(中山)

鉢植えのトマトの育ちが楽しみで朝
一番にわき芽摘みたり
高野 久子(大桶)

盆の客それぞれ帰り淋しさと気楽さ
のあり庭の草引く
須藤 ヤス(志鳥)



短歌 福澤 悅子 選

文艺



東原3班ボランティア。



太沢長寿会。



大金子供育成会・大金いきいきクラブ。

市内を緑あふれる明るいまちにしよう
と進めていた「花いっぱい運動」(市教育委員会主催)の審査会が7月30日(火)、市内全区域で行われ、東原3班ボランティア(矢野輝夫代表)が最優秀賞に輝きました。

今年は、27団体の自治会や高齢者団体、育成会等が参加。審査員は行政区長や女性団体等の代表9名が務めました。

審査項目は、花壇の配置・配色や生育状況、取組状況などの5項目を現地調査し、事前に提出された写真等も参考に評価をしました。

最も高く評価された東原3班ボランティアの花壇は、その見栄え、管理状況に

優良賞…三箇下いきいきクラブ、母子寡婦福祉会、下稻穂長寿会、興野自治会、神長上フラークラブ

優秀賞…大沢長寿会、大金子供育成会、大金いきいきクラブ

その他の参加団体…藤田自治会、大桶上百寿会、曲畠いきいきクラブ、熊田西幸齋クラブ、小倉自治会、谷浅見上老人会、あ

池澤進教育長が上位8団体に表彰状を手渡しました。

結果及び参加団体は次のとおりです。

最優秀賞…東原3班ボランティア

優秀賞…大沢長寿会、大金子供育成会、大金いきいきクラブ

たご寿会、月次いきいきクラブ、神長中フラワークラブ、横枕スポーツ愛好会、大桶下さいきいきクラブ、野上地区女性会、熊田西公民館、下境川辺自治会、元田自治花の会、下井ノ上おしゃべり会、やくら草の会、下境上シルバークラブ、寄り処堀ノ内(特定非営利活動法人いかんべ)(順不同)

景色を彩る 心を彩る 第8回花いっぱい運動 東原3班ボランティアが最優秀賞

審査員も目を見張りました。



なかがわ水遊園で 那須烏山市をPR

最も高く評価された東原3班ボランティアの花壇は、その見栄え、管理状況に

優良賞…三箇下いきいきクラブ、母子寡婦福祉会、下稻穂長寿会、興野自治会、神長上フラークラブ

優秀賞…大沢長寿会、大金子供育成会、大金いきいきクラブ

その他の参加団体…藤田自治会、大桶上百寿会、曲畠いきいきクラブ、熊田西幸齋クラブ、小倉自治会、谷浅見上老人会、あ

市では、7月6日(土)、7日(日)の両日、ながわ水遊園主催の「那珂川沿川市町PRイベント」で市の観光をPRしました。

当日は、観光協会、烏山城カントリー俱乐部、(有)あゆの里(矢沢のヤナ)、大桶ふるさと市場の4団体で「鮎の塩焼き」や「八溝カレーパン」等の当地グルメや特産物を販売。その他、山あげ祭のDVD放映やチラシ配布をしました。会場には、市のイメージキャラクター「ななす姫」「からすまる」「やまだん」も駆け付け、イベントを盛り上げました。会場には、夏休み前にも関わらず多くの親子連れでにぎわい、市の魅力を知るきっかけとなりました。



那須烏山市の物産店。

有料広告

総合広告代理店 各種印刷
(株)アド・ワークス
チラシ・伝票印刷・看板
www.adworks.ne.jp

那須烏山市野上 1162 (寺澤太鼓店前)
Call. 0287-83-8633